

12～1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

187,256円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 印刷代(月刊武松用紙代インク代)    | 64,210円  |
| 交通費(駐車場、燃料代)        | 16,133円  |
| 通信費(折込、郵送、携帯電話)     | 106,913円 |
| 支出計 24/12/1～25/1/31 | 187,256円 |

# 市政を考える 月刊武松

発行日  
25/2/1

たけまつ ただし  
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第224号

19400部発行

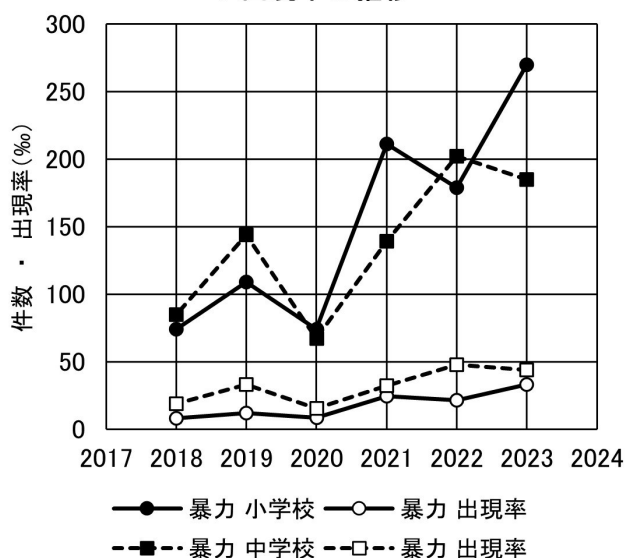
## 小中学校の暴力・いじめ・不登校状況 2018～2023年度の推移と現状分析について

2023年度小田原市立小中学校の、暴力行為・いじめ・長期欠席(不登校)の状況が示されましたので、以前のデータと併せて報告します。

### ■小田原市立小中学校における暴力行為の状況

図1に暴力行為の年度ごとの件数と出現率(千人当たり)を示します。

図1 小田原市立小中学校の暴力行為件数と出現率の推移



### ■暴力行為の状況等(教育委員会分析)

状況：中学校で減少したが、小中学校ともに全国や県と比較しても多い。

要因：児童生徒のコミュニケーション能力の低下  
新入学やクラス替え、諸活動における人間関係において、心理的不安定になりストレスを抱えたこと

### ■小田原市立小中学校におけるいじめの状況

図2に年度ごとの件数と出現率(千人当たり)を示します。図3にいじめの態様(小学校2023年度)を示します。

図2 小田原市立小中学校のいじめ件数と出現率の推移

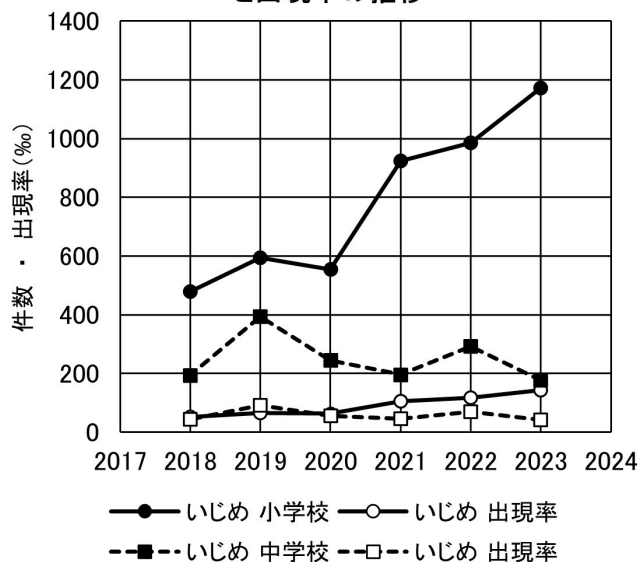
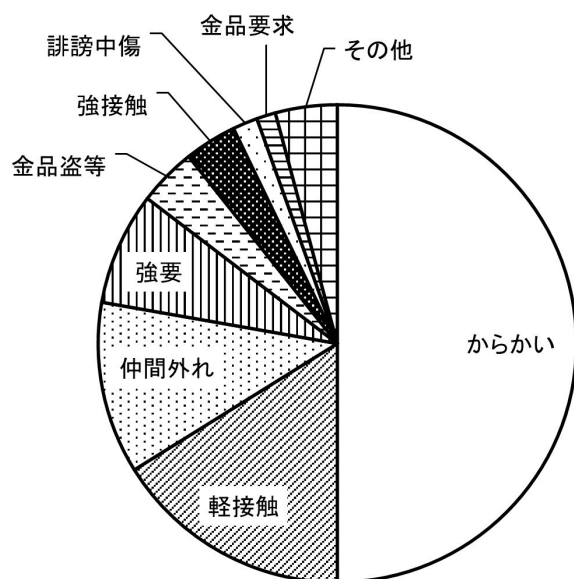


図3 いじめの態様(小学校 2023年度)



# いじめ・不登校の状況

## ■いじめの状況等（教育委員会分析）

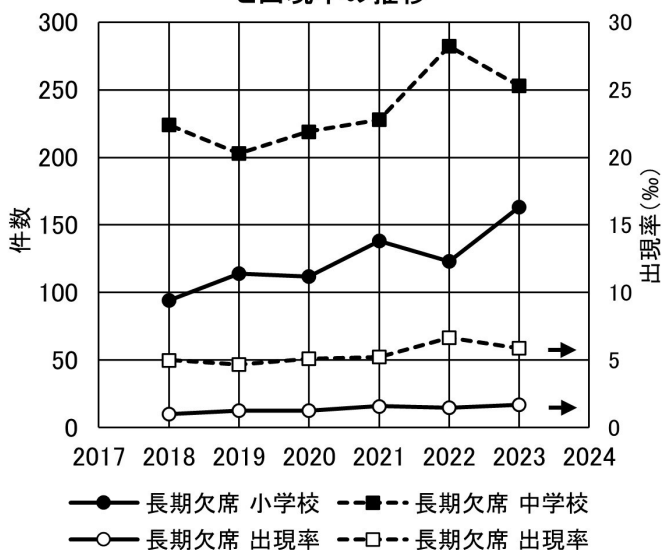
2022年度と比較して、**小学校**でのいじめの認知件数は**187件増加**し、**中学校**では**115件減少**しました。いじめの態様としては、小中学校ともに「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が約半数を占めています。さらに、小学校では「軽くぶつかる」「たたく」などの暴力行為も多くなっています。

**小学校**では、スマートフォンやタブレット端末の所持率の増加に伴い、**SNSの利用によるトラブルが増加**しており、正しい活用方法等の情報モラル教育が重要です。いじめの認知件数の割合は全国・県と比較すると多いですが、これは教職員が「いじめ防止対策推進法」の定義に沿って積極的な認知と早期発見・早期対応に努めている成果であり、いじめの解消率の高さにもつながっています。

## ■小田原市立小中学校における長期欠席（不登校）の状況

図4に長期欠席（不登校）の年度ごとの件数と出現率（千人当たり）を示します。

図4 小田原市立小中学校の長期欠席件数と出現率の推移



## ■長期欠席（不登校）の状況等（教育委員会分析）

不登校者数は、2022年度と比較して**小学校で40人増加**し、**中学校で32人減少**しました。

小中連携による丁寧な情報共有等により、中学校での減少につながっていると考えられます。

不登校児童生徒については、学習への不安や集団活動への不適応、家庭生活などの様々なことに要因があり、それらが複雑に絡み合っていることが考えられるため、学校内外で連携した取組が重要となっています。

学年別では**学年が上がるにつれて不登校者数が増えています**が、**低学年の不登校者数の増加も課題**となっています。

幼・保・小の連携により、早い段階からの支援が必要となっています。

## ■今後の主な取組

### (1) 暴力行為・(2) いじめ

- ・教職員全体で個に寄り添った指導・支援
- ・教育相談やアンケート等による教育相談体制の充実
- ・(SOSが出せない児童生徒の早期発見・早期対応)
- ・研修等による教職員の指導力向上、関係機関と連携した取組の実施

### (3) 長期欠席

- ・児童生徒一人ひとりの自己肯定力・有用感を育成
- ・早期発見・早期対応による不登校の未然防止
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門的な人材を活用した校内支援体制の整備
- ・おだわら子ども若者教育支援センターの相談窓口（はーもにい）の周知
- ・不登校生徒訪問相談員や校内支援室担当支援員の配置等の人的支援の充実
- ・外部機関との連携によるチーム支援や支援体制づくり

## ■所感

何れの項目も増加傾向にあると認識しています。この当事者は、精神的にとっても大変です。早期の対応と共に長時間かけて取組むゆとりも必要です。

現在は、リモートで授業を受けることもできるので、教室との繋がりを維持していく事が重要です。

## ■お知らせ■

2月の議会報告会は、都合により中止します。



公式HP  
月刊武松パナパナ他



X(twitter)  
防災・感染症情報



facebook  
日々の情報など



小中学校の暴力行為  
いじめ・長期欠席の状況

